



ご挨拶

今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス対応で不自由な生活となりました。ワクチンの2回接種が7割を超えた日本では急速に感染状況が激減して安心したのもつかぬ間、海外での増加傾向や新種のオミクロン株の侵入で落ち着きません。地球規模での人類とウィルスの闘いが来年以降も続く様ですので、継続した警戒が必要です。

一方で1年延期で57年ぶりの東京オリンピックは無観客実施ではありましたが、日本人選手のもの金メダルラッシュは非常に嬉しい事で、コロナ禍で元気をもらったと思います。また、大谷選手のメジャーリーグでの二刀流の大活躍も、日本人だけでなく世界中が賞賛してくれた出来事でした。

そんな中で群馬県支部の活動は、昨年同様に3月の春の集いも計画段階で中止とし、10月の総会・懇親会も計画は進めたものの、コロナの第5波の為に案内発送直前に中止にして、書面決議に変更させて頂きました。

来年こそなんとか定期総会を実施し、会員の皆様と対面でお会いしてご挨拶やお話をさせて頂き、「幽霊支部長」の汚名を晴らしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

群馬県支部 支部長 内田隆雄

春の集い

2020年の3月の「春の集い」で計画した、箏曲家の鈴木創さんとフルート奏者の木村ひかりさんの演奏会を実現したく、コロナ終息を待ちわびていますが、2022年3月の実施も工場クラスターやオミクロン株及び冬季オリンピックの関係で見送りにしました。

但し、完全な中止ではなく延期の予定で計画し、4月～6月の間でコロナ状況を確認しながら、実現に向けて準備を進める予定です。

鈴木さんと木村さんにもご協力を快諾して頂いておりますので、「春の集い」が「初夏の集い」と名称が変わるかもしれませんが、実施可能となってお案内がお手元に届きましたら、3年計画の演奏会に、ぜひご参加して頂きたいと願っております。



令和3年度支部総会

10月3日(日)に「マリエール高崎」で開催予定で計画していた支部総会は今年も中止せざるを得ず、文書により会員皆様に議案の賛否を伺いました。議案は「活動報告」と「会計報告」の2議案でした。

発送総数205通、回答総数75通、回答者全員が両議案に対し、「賛成」を表明して頂きました。

会員皆様からはコロナ禍での通知発送等に対して感謝や励ましの言葉を頂きました。ありがとうございます。

ご回答の通信欄に記載されていた内容をいくつかご紹介いたします。

- ・しっかりした活動を嬉しく、感謝します。
- ・来春はコロナも終息するでしょうから「春の集い」が楽しみです。（「春の集い」は延期になりました。）
- ・幹事の皆様、いつもお世話になっております。コロナ禍の収束を願っております。
- ・幹事の皆様ご苦労さまです。発送作業ありがとうございました。
- ・新島研究会の報告を冊子にまとめませんか。（新島研究会のメンバーで検討したいと思います。）

新型コロナウイルスが一日も早く収束し、「初夏の集い」そして「総会」が開催できるよう祈念しております。

All Doshisha募金

「同志社2025All Doshisha募金」につきましては、会員の皆様方にはこれまでご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。同志社大学学長室募金課作成の資料「2017年10月1日～2021年9月30日の都道府県別入金状況」によれば、群馬県は個人で54名の1428万3千円、団体で20万円、法人で3企業の30万円で、合計1478万3千円となっております。なお、団体の20万円は、校友会群馬県支部からのもので、今年も寄付しております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「春の集い」も「総会・懇親会」といった支部の行事が全て中止となり、積極的な募金活動の展開が困難な状況が続いております。10月23日に同志社校友会 関東・甲信ブロック会議が、オンラインで開催され、各支部からの状況報告がありましたが、押し並べて同様な状況でした。

「同志社2025All Doshisha募金」の期間は、2026年3月31日までとなっております。会員の皆様方には、今後とも折に触れ募金のお声掛けをさせていただきますが、引き続き継続的なご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成卒交流会

今年も昨年に続き、コロナ感染拡大防止の観点から「平成卒交流会」の開催は見送りとさせて頂きました。来年もコロナ禍の状況を考慮しながら、「平成卒交流会」を計画致しますので、ご興味のある方や皆様方の中で、平成卒で推薦したい方等いらっしゃいましたら、引き続き幹事の三輪まで連絡をお願いします。

メールアドレス：k_miwa@gs21.co.jp

「平成卒交流会」とは、2016年に校友会若手有志にて結成された平成卒以降約30名で構成されている、群馬県支部独自の校友会組織です。同志社大学時代の共有だけでなく、異業種交流による参加者の積極的な情報共有にも力を入れておりますが、そろそろ「令和卒」の校友も参加して頂けるのではと期待しているところです。その節には名称も変更する必要もあると考えておりますし、更に若いリーダの登場も大歓迎です。

コロナ禍が早く収束し皆様と実際にお目にかかり、昔話に花を咲かせられる日が早く来ることを願っております。



新島研究会

(1) 総括

本年度の活動は、昨年に引き続きコロナの影響があったものの、昨年よりも一日多い7日間の開催でした。研究発表には、換気の良い広い部屋を借り、全員マスク着用で臨みました。9月には昨年同様、東京新島研究会の支倉氏に高崎迄来て頂きお話をして頂きました。また、11月には、昨年コロナの影響で実現できなかった新島学園中学高等学校の古畑校長先生をお招きしてスライドを見ながら拝聴しました。

慣例の新島先生の足跡を辿る「松山・今治」の2泊3日の旅行は、残念ながらコロナを考慮して実現できませんでしたが、コロナが納まり次第決行する予定です。

(2) 新島研究発表

- 1月16日 「大石誠之助」(貧しき民への思い) (入江)
「矢島家の女性たち」(熊本の猛婦4人) (樽見)
6月19日 「新型コロナ感染拡大の中で自由・自治・自立を考える」(狩野)
「新島襄のアルプスでの遺言」(田島)
7月17日 「山室軍平とその時代」(鳥本)
「基督教の四国伝道、今治教会と同志社との関わり」(寺岡)
9月25日 「新島襄の父・民治と寺子屋」(支倉氏：東京新島研究会)
・文政8年(1825年)民治が18歳の時に寺子屋を開き、62歳迄の45年間子供達を教えた
・最初の年は7人の弟子からで、女子も沢山いたし他藩の弟子もあり
・年間平均で40~50名の弟子を個人単位で教えていた
・授業料という観念が無かったので、ほぼボランティアだったが、弟子はお礼として入塾の際に「扇子」「鯉節」「お酒」「お菓子」を持ってきた
・新島襄は民治が41歳の時、5歳で入塾し、民治は英才教育をしようと試みた
10月16日 「良心とは」(中山)
「熊本バンドと同志社」(松村)
11月20日 「新島襄の教育感」(古畑氏：新島学園中学・高校 校長)
・教育の差で同じ技術が平和にも戦争にも適用されるという紹介ビデオ
政府広報 Society 5.0 (https://www.youtube.com/watch?v=249hXyODqWY)
AIと戦争 (https://www.youtube.com/watch?v=WiY8VQQRKic)
・新島襄の思想：「自由教育」「自治教会」「両者併行」「国家万歳」
・「良心」とは高尚な大志を懐いた心
・心の教育が大事：知育+徳育=智徳並行主義
・何事も人間性が土台
12月18日 「新島襄の人間性について」(内田)
「新島襄の教え子たち 教育に携わった人々」(眞下)
(現在の日本女子大学(当時の日本女子大学校)の場合)

2022年計画案 (来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。)

Table with columns for months (1月 to 12月) and rows for activities (行事内容, 春の集い, ゴルフ, 平成卒交流会, 旅行, 総会・懇親会). Includes a '延期計画' (Postponed plan) and '状況により計画' (Plan depending on situation) note.

群馬県支部「春の集い」の延期
昨年度に続き、コロナの影響の為に3月実施の「春の集い」は中止で、4月~6月への延期を予定します。詳細は別途案内を送付します。



総会・懇親会出席のお願い
同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。
2022年10月9日(日)
(マリエール高崎)